

エコアクション2.1ガイドライン改訂検討に関する作業部会（第3回）

議事要旨（案）

日時： 平成28年8月26日（金）10:00～12:00

場所： TKP ガーデンシティ渋谷 カンファレンスルームB

出席者（敬称略）：

・委員

八木裕之（座長）、倉阪秀史、後藤敏彦、竹ヶ原啓介、古田清人、森下研

・オブザーバー

一般財団法人持続性推進機構 安井至、小池秀子

・環境省

総合環境政策局環境経済課 奥山祐矢、齋藤英亜

・事務局

プロファームジャパン株式会社 立川博巳、渡辺有子、関谷翔、関口久美子

※会議は非公開で行われた。

議題：

1. 第2回作業部会における議論の主要ポイント

○事務局から第2回作業部会における議論の主要ポイントについての説明がなされた。

2. 第2回環境コミュニケーション促進分科会における議論の主要ポイント

○事務局から第2回環境コミュニケーション促進分科会における議論の主要ポイントについての説明がなされた。

3. 地域事務局からのコメントについて（中間報告）

○事務局から地域事務局からのコメントについての説明がなされた。

○コメントをガイドライン自体に関係するものとそうでないものに分類し、前者について優先的に事務局案を作成し、第4回以降の作業部会で検討することとされた。

○制度運営体制イメージ図について、審査人から事業者に対する「審査」の矢印とともに、事業者から審査人に対して「指導・助言を求める」ことを表す矢印を追記することが提案された。

4. 審査人の名称のあり方について

- 事務局から審査人の名称のあり方についての説明がなされた。
- 審査人の名称は「審査員」とし、指導・助言・支援の具体的な内容については第4回以降の作業部会で検討することとされた。

5. 現行版ガイドライン第3章のあり方について 11:06

- 事務局から現行版ガイドライン第3章のあり方についての説明がなされた。
- 「取組の対象組織・活動の明確化」について、案の通り、サイト認証を認めることとされた。
- 「代表者による経営における課題とチャンスの明確化」について、審査時のインタビュー等を通じて、代表者に「経営における課題とチャンス」を明確化してもらい、審査人が環境側面からの助言を行うということを前提に、解説を分かりやすく書きなおすこととされた。合わせて、経営における課題とチャンスを内部要因、外部要因に分けて洗い出し、それらと環境との関わりを審査員とともに考えることを促す仕組みを構築することとされた。
- 「代表者による経営における課題とチャンスの明確化」と「環境経営方針の策定」は、前者は文書化が必須ではないのに対し、後者は文書化が必須ということもあり、ひとつの項目とはせずに独立した項目のままとすることとされた。
- 「環境経営方針の策定」について、「手書きでなければならない」との解釈が出てきたため、案では署名を削除したが、「環境経営方針の制定日（または改訂日）と代表者の氏名を明記する」こととし、「手書きでなくてよい」ことを解説等に明記することとされた。

6. その他

- 次回の作業部会の日程が調整された。

以上